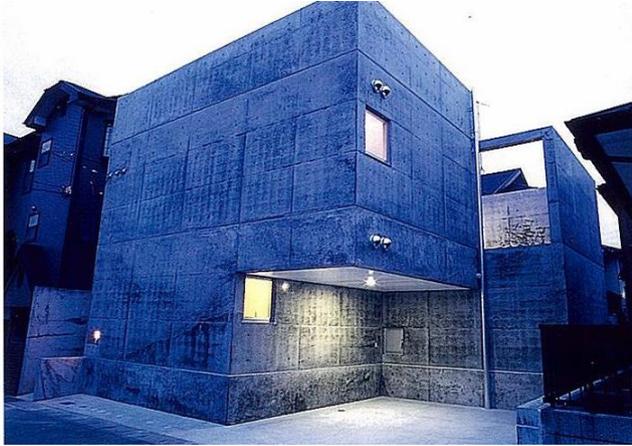


コンプラスト RP264

CREDENCE

非空気連行性減水剤



「コンプラスト RP264」は、塩化物を含まない、減砂糖リグニン系を基材とする減水剤です。

細かい微粒子をコンクリートミックスに分散させ、コンクリート中の水分をより効果的に機能させることができ、コンクリートの硬さも改良することができます。その結果、凝固時間が遅れ、後に続く凝固作用や強力に逆作用がなく、最初のセメント水和を遅らせることができます。

特長

- セメント低減による減水
- 圧縮強度に優れ、浸透性の低いコンクリートにより、耐久性が向上
- 骨材分離や浸出を抑制し、密実した表面を作るため、さらに耐久性の効果が向上
- 塩化物非含有で、プレストスとコンクリートや鉄筋コンクリートにも安全に使用できる

用途

- 屋根スラブ、地下、各種タンク、ピット、水路などのコンクリート躯体
- 集合住宅、学校、商業施設など一般 RC 建造物の亀裂部分
- 密実で亀裂の少ないコンクリート打放し仕上げ

性状

外観	: 暗褐色液体
密度 (g/m ³)	: 1.16 ±0.1
塩化物	: Nil to BS5075
アルカリ量	: 3.0g 以下 Na ₂ O 5g/L 混和剤

使用量

	コンプラスト RP264
セメント 100kg 当り	400cc ~ 1000cc

「コンプラスト RP264」を添加する時は、あらかじめ試験練を行い、使用時の条件によってその最適量を判断して下さい。

「コンプラスト RP264」は PFA、GGBFS、マイクロシリカを含むセメントに相容します。

施工上の注意事項

■ 遅延作用

「コンプラスト RP264」の使用量を変えることで、遅延作用のレベルと減水量を変化させる事ができます。混和剤以外にも遅延作用を変化させる要素があり、以下が主な例です。

- ・ 同じ分量のポルトランドセメントよりも、セメント代用素材や SRC セメントの方が遅延作用が大きい。
- ・ 高温で塗布する場合、同じ凝固時間の変化を得るためには、混和剤を増加させる事が必要になる。
- ・ セメント内容等を変化させた場合、得られた遅延作用変動につながる可能性がある。特にセメント内のアルミン酸石灰量は主要貢献要素であり、少量のアルミン酸石灰は大きな遅延作用につながる。

コンクリートに他の混和剤を混ぜ合わせて使うことによって、凝固時間が変化することがあります。このような場合、あらかじめ試験練りを行い、最適量を判断して下さい。

■ 相容性

「コンプラスト RP264」は、フォスロックのその他の混和剤と相性も良いので、同時に混練できます。その場合、別々にコンクリートに混和する必要があり、事前に全ての混和剤を混ぜ合わすことはしないで下さい。

ポルトランドセメント、高炉セメント、早強セメント又はセメント代用として用いられる PFA、GGBFS、マイクロシリカとも適しています。

■ 分量の調合

使用にあたっては、適切な容器で計量し、正しい分量を投入して下さい。

ミキサーの中に単位分量の一部として混ぜながら投入し、セメントと混練します。

■ 過剰使用

「コンプラスト RP264」を通常使用量の 2 倍以上添加した場合、遅延作用の増加につながります。十分な硬化作用が持続されていると仮定した場合、コンクリートの耐久性が損なわれることはありません。耐硫酸塩のセメントやセメント代用が用いられた場合、過剰使用量の効力はさらに強まります。

荷 姿

18 L / 缶

保管上の注意事項

- 凍結しないよう注意して下さい。
- 直射日光、雨水の影響を受けない、乾燥した冷暗所などの室内に保管して下さい。

安全衛生上の注意事項

- マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用して下さい。
- 目に入った場合は、直ちに清浄な水で十分洗浄し専門医の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で洗浄して下さい。